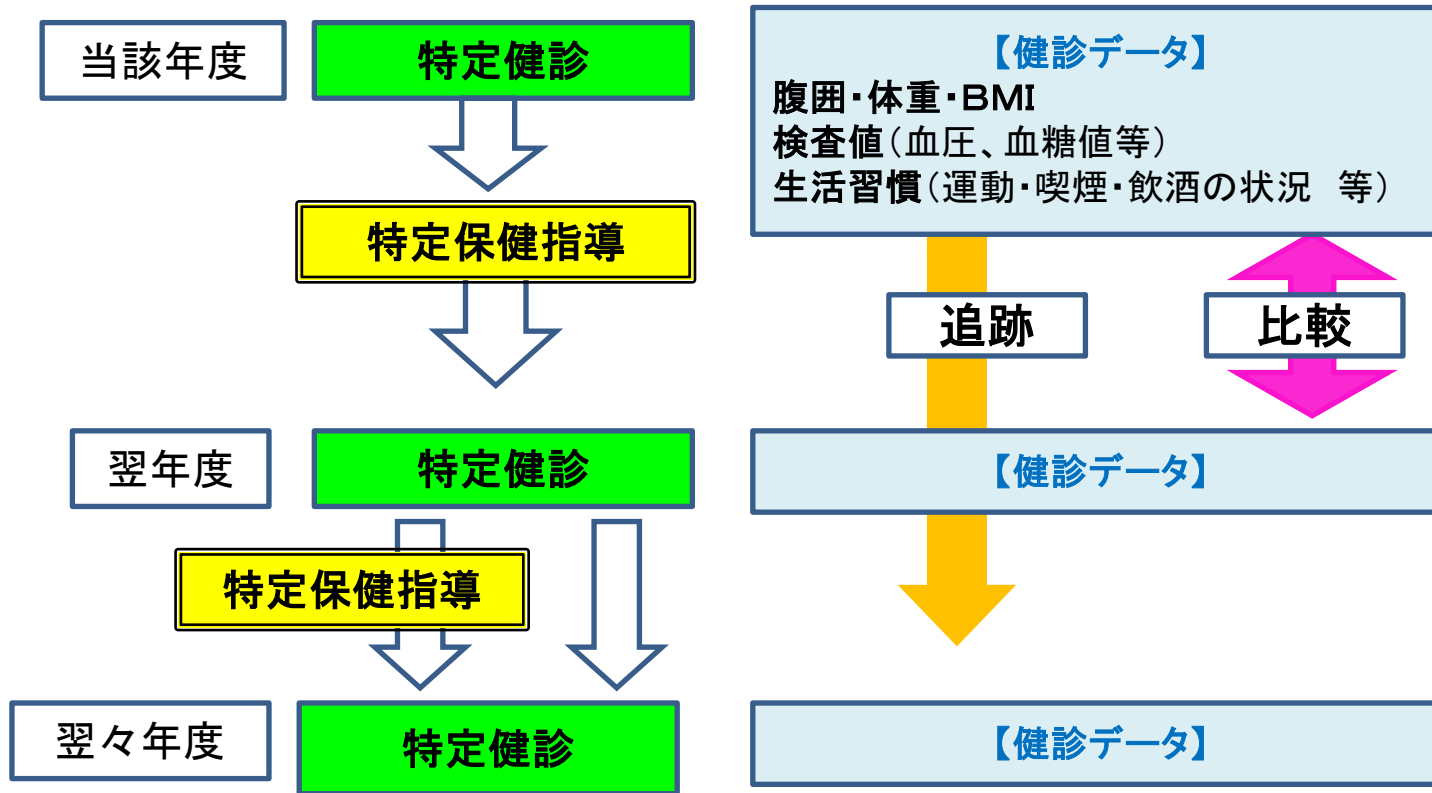


NDBを用いた特定保健指導の効果を検証するに当たり、当面の検証方法としては、以下のような方法を用いてはどうか。

特定保健指導を受けた者について、検査値及び行動変容への影響について、特定健診結果における前後の比較及び経年的な比較を行う。

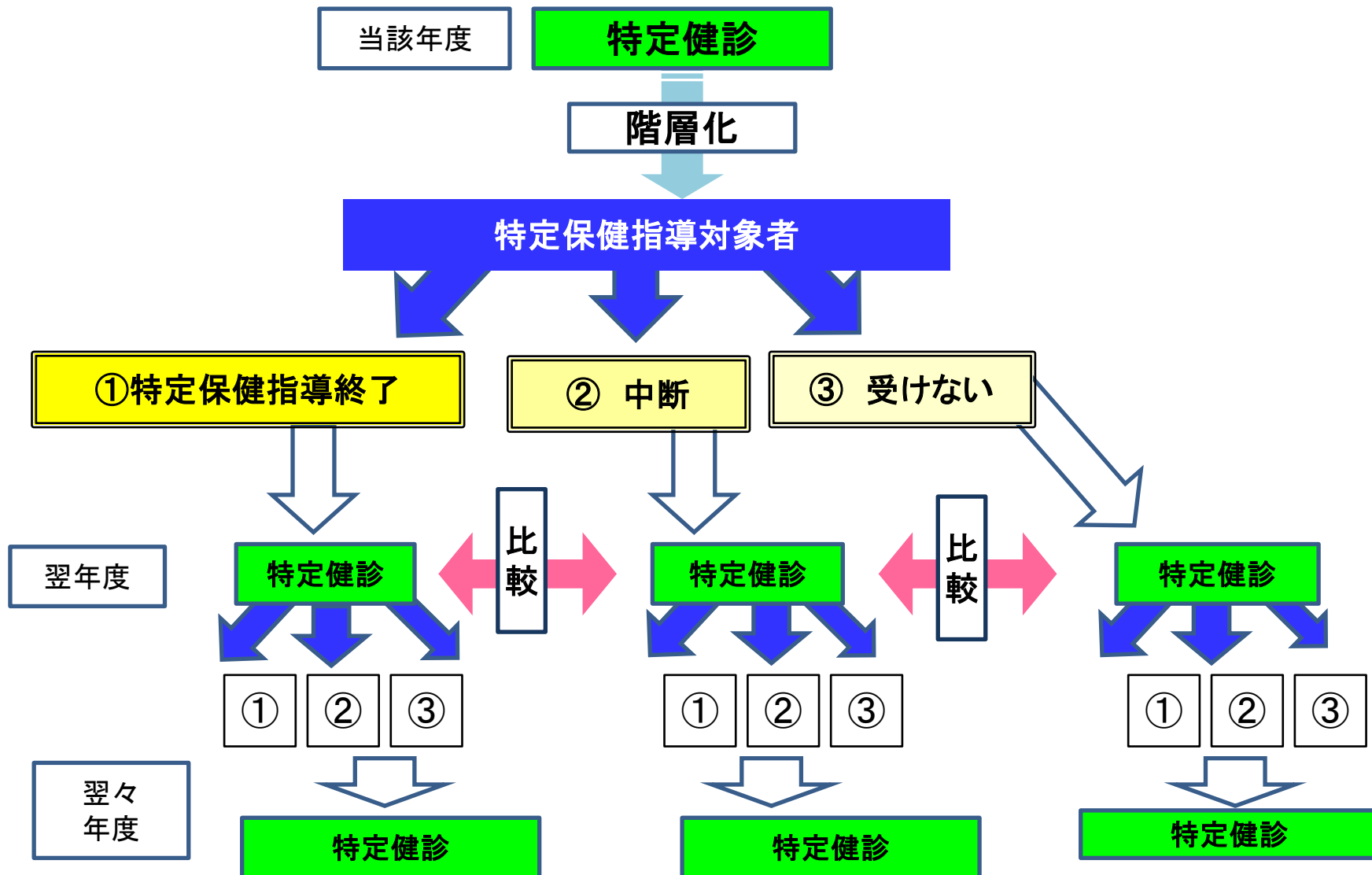
比較方法(1)前後での比較



平成20年度及び21年度の特定保健指導を受けた者、平成20年度のみ特定保健指導を受けた者、平成21年度のみ特定保健指導を受けた者について検証を行う。

階層化の結果、特定保健指導の対象者となったについて、
特定保健指導を受けた者・中断者・受けなかった者で比較する

比較方法（２） 対照群との比較



特定保健指導終了群、中断群、未実施群を比較するに当たって (バイアスを少なくするための方法について)

バイアスを少なくするための方法として、層別化を行うことが考えられる。層別化する項目が多いと、比較対象集団毎の件数が少なくなることが予想される。

- ・層別化する項目としては、どの項目を組み合わせるのが適切か。(項目の優先順位)
- ・集団毎の件数の下限はどの程度か。

当該年度の健診結果から層別化する項目の例

① 属性情報

- 性別
- 年齢別(5歳階級別)

② 検査結果値

- 特定健診結果によるレベル別(動機付け、積極的支援別)
- 検査値(平均値の変化を検証する際に、検証対象とする検査値を層別化して検証することで対応してはどうか。)
- 腹囲
- BMI

③ 生活習慣等(質問票から)

- 飲酒習慣
- 喫煙習慣
- 運動の状況(運動習慣、身体活動)
- 生活改善への取組状況
- 保健指導の希望

特定保健指導を受けた者・中断者・受けなかった者の抽出条件について

平成20年度

平成21年度

【特定保健指導対象者の内訳】

平成20年度
特定健康診査

階層化

① 特定保健指導終了者

② 特定保健指導中断者

③ 年度越えの特定保健指導を行った者
(実施したものの、平成20年度報告分では報告されなかった者)

④ 特定保健指導を受けていない者

平成21年度
特定健康診査

具体的な抽出条件

① 特定保健指導を終了した者 (特定保健指導終了者)

(A) 平成20年度の特定保健指導ファイルがあり、かつ、終了者要件(終了者要件とは以下のとおり。積極的支援：180P以上、6ヶ月後評価まで終了した者、動機付け支援：6ヶ月後評価まで終了した者)を満たした者

② 特定保健指導中断者 (特定保健指導中断者)

(A) 平成20年度の特定保健指導ファイルがあり、かつ、終了者要件を満たさない者
(B) 平成20年度の特定保健指導ファイルがなく、かつ、平成21年度の特定保健指導ファイルがあり、かつ、初回面接日が平成21年度特定健診情報ファイルの健診日より前で、かつ、終了者要件を満たさない者

③ 年度越えの特定保健指導を行った者 (特定保健指導終了者)

(A) 平成20年度の特定保健指導ファイルがなく、かつ、平成21年度の特定保健指導ファイルがあり、かつ、初回面接日が平成21年度特定健診ファイルの健診日より前で、かつ、終了者要件を満たした者

④ 特定保健指導を受けていない者 (特定保健指導を受けていない者)

(A) 平成20年度特定保健指導ファイルがない者
(B) 平成20年度特定保健指導ファイルがなく、かつ、平成21年度特定保健指導ファイルがある者で、かつ、特定保健指導の初回面接日が、平成21年度特定健診情報ファイルの健診日より後の者